

大規模スポーツイベントにおける その後の施設利用に関する研究

道場 俊介¹・鈴木 温²

¹ 学生会員 名城大学大学院 理工学研究科社会基盤デザイン工学専攻 (〒486-0804 愛知県名古屋市天白区塩釜ロー丁目 501 番地)

E-mail:223433007@ccmailg.meijo-u.ac.jp

² 正会員 名城大学教授 理工学部社会基盤デザイン工学科 (〒486-0804 愛知県名古屋市天白区塩釜ロー丁目 501 番地)

E-mail:atsuzuki@meijo-u.ac.jp

昨年、東京でオリンピックが開催され、選手村や多くの競技施設が建設された。また、2026年には名古屋でアジア競技大会が開催されることが決定しており、現在、開催に向けた施設整備等の準備が進められている。大規模スポーツイベントの開催のために整備した施設は、開催後も競技施設として利用されることも多いが、選手村等は住宅地として整備される等、別の用途として活用される場合も多い。そこで本研究では、オリンピックを主とした過去に行われた大規模スポーツイベントの際の選手村の跡地が現在どのような用途で利用されているかを整理し、それらの利活用状況や成功・失敗要因を分析する。また、これらの分析をもとに、2026年の名古屋アジア大会に向けた提案やリスク要因の考察等を行うことを目的とする。

Key Words: *olympic village, legacy,*

1. はじめに

(1) 研究の背景・目的

昨年、東京でオリンピックが開催され、選手村や多くの競技施設が建設された。また、2026年には名古屋でアジア競技大会が開催されることが決定しており、現在、開催に向けた施設整備等の準備が進められている。大規模スポーツイベントの開催のために整備した施設は、開催後も競技施設として利用されることも多いが、選手村等は住宅地として整備される等、別の用途として活用される場合も多い。

そこで本研究では、オリンピックを主とした過去に行われた大規模スポーツイベントの際の選手村の跡地が、現在どのような用途で利用されているかを整理し、それらの利活用状況や成功・失敗要因を分析する。その後、これらの分析をもとに、2026年の名古屋アジア大会に向けた提案やリスク要因の考察等を行うことを目的とする。

2. 過去の大会における選手村の実績

(1) バルセロナ大会

a) 選手村跡地の状況

サンマルティ地区にあるバルセロナ大会の選手村は、15,000人を収容する大規模な村だった。しかし、メディア関係者や審判のためのベッドが不足していることが示唆され、新たにバルセロナから100km以上離れたビーチを備えた2つの施設を追加することとなった。そこには1,300人ほどが収容された。

現在の選手村は、2,500の店舗、増設された集合住宅、ホテル、オフィス用の高層ビル2棟などがあり、オリンピック後も都市の中心地となった。しかし、増設された施設の中に学校などの教育機関が含まれておらず、集合住宅に家族が移り住まなかった。

b) 立地条件

選手村のあるパルク・デ・マルは、元々古い工場や工房などが立ち並ぶ工業地帯で、使われなくなったものも多い廃墟であったが、ここにビーチ、地下鉄の駅、港、新たな下水システムなどの大規模な改築を施し、街の雰囲気を大幅に変えることに成功した。都心部ともそれほど離れておらず、整備された地下鉄の駅も元々都心部とつながっていたことにより、うまく都市計画に統合できたといえる。



図-1 バルセロナオリンピックパーク

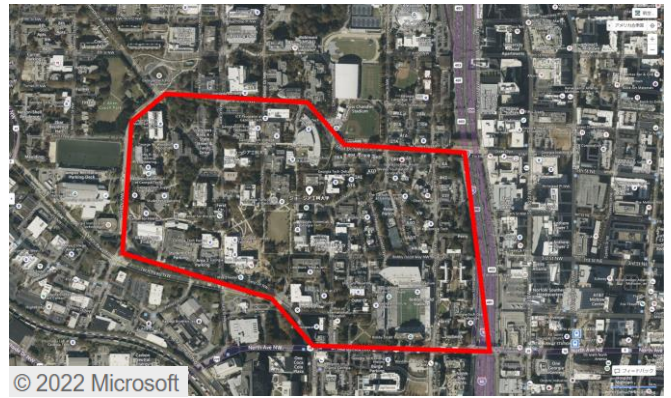


図-4 選手村周辺地図



図-2 選手村周辺地図

(2) アトランタ大会

a) 選手村跡地の状況

ジョージア州にある選手村は当時 14,000 人を収容し、現在はジョージア工科大学の学生寮として使用されている。選手村をはじめとしたその他の競技施設も、建設当時から後に大学の施設として用いる計画でつくられた。大会後は新たに学生寮として用いる 2 棟の住居用建物を増設した。

b) 立地条件

センテニアルオリンピックパークのある場所は以前は荒廃した工業用地だった。この選手村は、後の用途が明確であり、選手村としての役目をしっかりと果たしたが、大学という一つの施設内で完結してしまったことにより、長期的な都市計画に統合する機会を失ってしまったと言える。



図-3 ジョージア工科大学学生寮

(3) シドニー大会

a) 選手村跡地の状況

選手村の立地しているニューサウスウェールズ州のニューイントンは、当時選手とスタッフ 15,000 人を収容し、その後も住宅を増設し、2011 年時点で 5,000 人が居住している。現在は、選手村のあるオリンピックパークの近隣に 225 の事業所が加わり、そこに 17,000 もの雇用を生み出している。

b) 立地条件

ニューイントンのオリンピックパークは、当時 2/3 が緑地であり、その中のさらに 1/4 は土壌汚染地域を緑化したエリアである。ニューイントンは元々シドニーの他の都市から孤立しており、市民は車の使用率が高かった。そこでこのエリアを開発することで、ニューイントンとほかの都市を繋ぐ役割を果たした。



図-5 シドニーオリンピック選手村

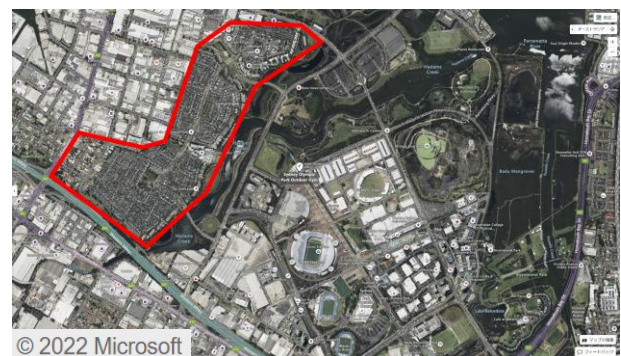


図-6 選手村周辺地図

(4) アテネ大会

a) 選手村跡地の状況

アテネのパルニサ地区にある選手村は、10,000 人を収容した住宅群でできている。現在も住んでいる人はいるが、選手村以外の施設はほぼ廃墟と化してしまっている。

b) 立地条件

選手村ができた場所はパルニサ地区のパルニサ山のふもとであり、そこは選手村を建設する上で特に障害のない場所だったが、中心地から 30 分もかかる郊外の農用地であり、結果として都市のスプロール化を引き起こしてしまうこととなる。



図-7 アテネオリンピック選手村

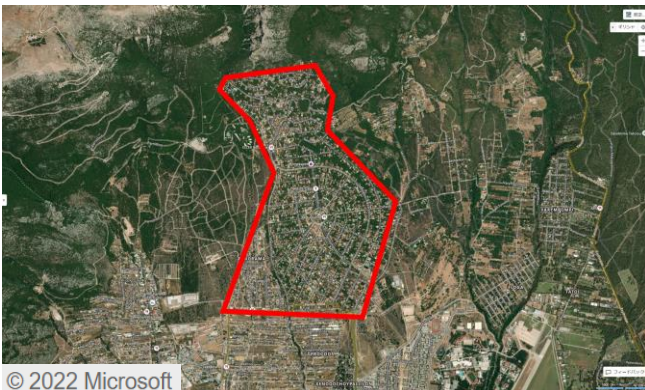


図-8 選手村周辺地図

ニバーシティ・オブ・ジ・アーツ・ロンドン) の新キャンパスなど、様々な施設の増設が今も進行、検討されている。

b) 立地条件

オリンピックパークが作られた場所は産業用プラントが立ち並ぶ工場地帯であり、長きにわたり深刻な土壌汚染が問題となっていた。そこに土壌浄化作業を施し、226 ヘクタールの広大なオリンピックパークを建設、最寄りのストラットフォード駅を改修し、ロンドン中心部からのアクセスを改善した。



図-9 クイーンエリザベスオリンピックパーク



図-10 選手村周辺地図

(5) ロンドン大会

a) 選手村跡地の状況

選手村として利用されていたクイーンエリザベスオリンピックパーク内のイーストビレッジは、当時選手とスタッフ 16,000 人を収容し、現在も 6,000 人を収容している。現在ある 2,818 戸はほぼ全て埋まっており、2030 年までにパーク内に、計 8,000 戸におよぶ 5 つの新しい住宅地が誕生する予定である。

その他にもこのオリンピックパークには新たな競技場をはじめ、金融行動監視機構 (FCA) や、ロンドン交通局の本部が設置される予定のインターナショナルクォーターロンドンが現在建設中、ロンドン大学 (ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン) やロンドン芸術大学 (ユ

(6) リオ大会

a) 選手村跡地の状況

リオ大会の選手村は、マンション 31 棟、3,604 戸、大会期間中 18,000 人を収容したオリンピック史上最大規模の選手村である。しかし、大会後に放棄され、現在では廃墟である。

b) 立地条件

もともと 2007 年開催のパンアメリカン競技大会のために建設され、既に 3 つの競技場が設置されていた。その後新たに 6 つの会場が増築され、計 9 つとなったが、今はどれも使われていない。



図-11 リオオリンピック選手村



図-13 東京オリンピック選手村

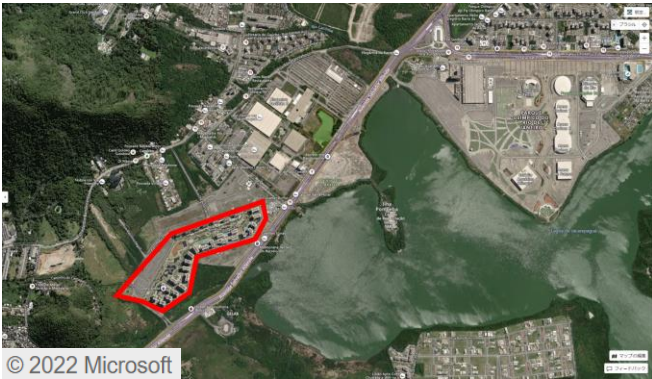


図-12 選手村周辺地図



図-14 選手村周辺地図

表-1 選手村の状況

	所在地	選手村選手等 収容人数	以前の状況	現在の用途	評価
バルセロナ (1992)	バルセロナ市庁舎から 2.2km 徒歩 26分 電車で 17分	15,000	古い工場群, 廃墟	バルセロナオリンピックパーク	オリンピック後もオフィス街として機能するが, 学校などの教育機関がないため, 家族は移り住まなかった
アトランタ (1996)	アトランタ市庁舎から約 2km 車で 8分	14,000	荒廃した工業用地	ジョージア大学 学生寮	大学の学生寮として利用されるが, 都市との連携がなく, 発展にはつながらなかった.
シドニー (2000)	ニューサウスウェールズ州総督から約 20km 車で 42分	15,000	緑地と土壌汚染地帯	住宅地	都市中心部との接続に成功, 住宅地として現在も機能している.
アテネ (2004)	アテネ市庁舎から 30km 車で 54分	10,000	農業用地	住居	かろうじて住宅地として機能しているが, それ以外の施設が廃墟.
ロンドン (2012)	ロンドン市庁舎から約 7km 車で 24分 電車で 41分	16,000	土壌汚染地帯	クイーンエリザベスオリンピックパーク	都市として機能し, 新たな施設も建設中, 今も発展を続けている.
リオ (2016)	リオデジャネイロ市役所から約 30km 車で 30分	18,000	他大会の複合施設	廃墟	選手村だけでなく, ほかの施設も完全に放棄されている.
東京 (2020)	東京駅から約 3km 電車で 27分, 車で 14分	18,000	工業地帯跡地	現在都市開発中	住居の増築と商業施設などの建設中

(7) 東京大会

a) 選手村跡地の状況

東京都中央区晴海 1 丁目にある東京大会の選手村は、マンション 21 棟、選手スタッフ込みで 18,000 人を収容するなど、リオ大会の時とほぼ同規模である。大会後の現在は、選手村のリフォームとして、新たな住宅用としての超高層タワーと、その周辺施設として商業施設や消防署などの増築が進んでいる。

b) 立地条件

選手村がある東京都中央区晴海 1 丁目は、昭和 6 年に埋め立てられた土地で、かつて東京都港湾局専用線という貨物船が乗り入れる工業地帯であった。しかし後に専用線は全て廃線となり、当時使われていた線路や橋梁、倉庫などが遺構として長く残されていたが、2015 年に選手村建設が決定し 20 年に完成、近辺には中央清掃工場が隣接している。

3. 考察

以上の情報をまとめたものを表-1 に示す。バルセロナ大会は、都市開発に成功したが、学校などの教育機関の不足で家族を引き込むことができず、オフィス街となった。しかし、教育機関に固執しすぎると、アトランタ大会のように、都市の発展につながらず、機会を無駄にすることとなる。各大会の評価から、後の再開発の際に多様な施設を増築すること、都市圏近辺、もしくは都市圏へのアクセス手段を確立することが重要であると考え

4. おわりに

本稿では、過去の夏季オリンピックの選手村跡地の状況を整理、分析し、その結果を踏まえて、アジア大会に向けた選手村に関する考察を提案した。

参考文献

- 1) EVAKASSENS-NOOR : planning Olympic legacies, Routledge, 2012.
- 2) 鈴木 文彦：事例に学ぶオリンピック開催跡地の有効活用の視点, pp.62-65, 2016.
- 3) 千葉銀行ロンドン支店：EU インサイト 2012 年ロンドンオリンピックとその後の都市開発, 2019.
- 4) ELMORE, MALINDI : Olympic villages as a tool for urban regeneration, 2006.
- 5) [La Vila Olímpica del Poblenou | Sant Martí \(barcelona.cat\)](#)
- 6) [オリンピックビレッジ - ニュージョージア百科事典 \(georgiaencyclopedia.org\)](#)
- 7) [オリンピックビレッジ - オリンピックニュース \(olympics.com\)](#)
- 8) [オリンピックビレッジ「アテネ2004」とオリンピック適](#)
- 9) [応後 - Proodeftiki S.A.](#)
- 10) [進化し続けるロンドン五輪の「夢の跡地」 クイーン・エリザベス オリンピック・パーク \[Queen Elizabeth II Olympic Park\] - Onlineジャーニー \(japanjournals.com\)](#)
- 11) [リオ2016オリンピック選手村内アイデザインアーチ|インテリアデザイン, 建築&インテリア装飾マガジン \(idesignarch.com\)](#)
- 12) [東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村NOW by RIEdel | 中央区観光協会特派員ブログ \(chuo-kanko.or.jp\)](#)

A STUDY ON SUBSEQUENT USE OF FACILITIES IN LARGE-SCALE SPORTING EVENTS

Shunsuke MICHIBA, Atsushi SUZUKI

Last year, the Olympic Games were held in Tokyo, and an athlete's village and many sports facilities were built. In addition, it has been decided that the Asian Games will be held in Nagoya in 2026, and preparations are currently underway to prepare facilities for the event. Facilities developed for holding large-scale sporting events are often used as competition facilities even after the event, but there are many cases where the athletes' village is developed as a residential area and used for other purposes. Therefore, in this study, we will organize the current use of the site of the athletes' village at the time of large-scale sporting events held in the past, mainly the Olympics, and analyze their utilization status and success/failure factors. Based on these analyses, we aim to make proposals for the 2026 Nagoya Asian Games and consider risk factors.